

歳入



平成15年度

特徴を

【歳入の特徴（一般会計）】

一般会計の歳入合計は前年度対比10億1,700万円の減ですが、地方交付税、諸収入、繰入金、町税の減額幅が大きくなっています。

一般財源の合計は68億1,100万円で、前年度を6億9,800万円と過去になく大きく下回ることになりました。このため、予算規模の大幅な圧縮を図ったものの、一般財源を確保するために、財政調整基金を2億3,000万円取り崩し計上しました。

地方交付税については、投資的経費の減、臨時財政対策債（赤字地方債）への振り替えなどにより、前年度対比5億円減の38億円と見込みました。

町税は個人町民税（1.1%）、法人町民税（2.4%）が減収となることから1,060万円（1.3%）の減と見込みました。固定資産税は評価替えによる影響を見込み5.6%の減と見込みました。

町債は、道路事業で5,380万円、公営住宅建設事業で9,110万円を計上。臨時財政対策債（赤字地方債）は5億5,000万円（平成14年度は4億円）を計上しました。

地方交付税18億円の減

町税1年分または職員人件

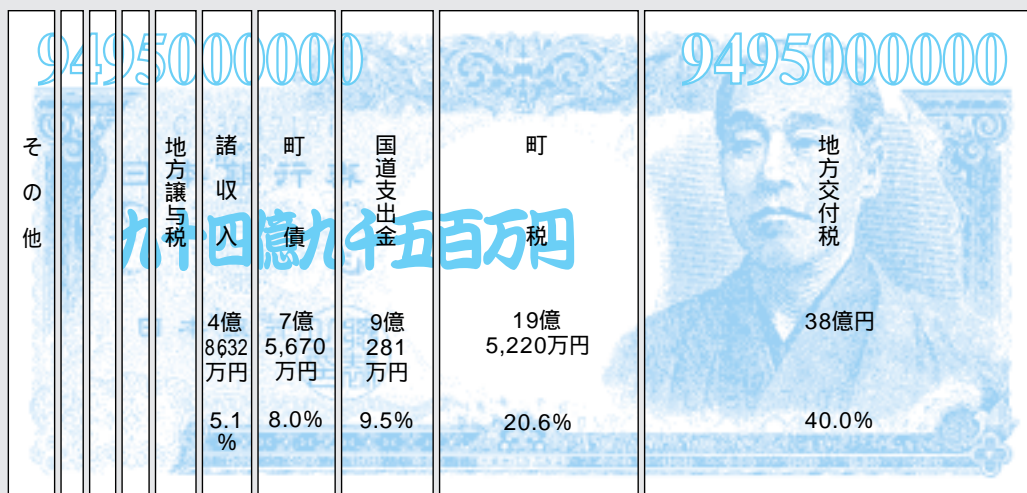
貯金取崩見込額は2億

平成14年度末の全会計の基金

町の借金残高は220億

平成15年度返済元金は15

歳入

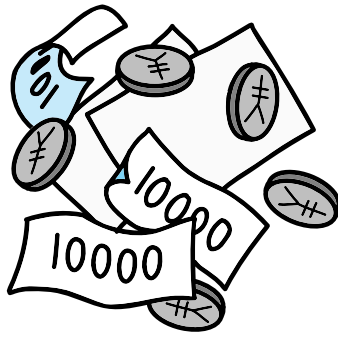


歳入 94億9,500万円
(前年比9.7%減)

ゴルフ場利用税交付金 1,777万円 利子割交付金 900万円 交通安全対策特別交付金 600万円
財産収入 2,641万円 自動車取得税交付金 1億2,100万円 寄付金 37万円 繰越金 5,000万円
地方特例交付金 7,500万円 地方消費税交付金 1億4,100万円

の芽室町予算

探る。



歳出

<ピーク時(平成10年度)対比>
費1年分相当額が減額

7,000万円(全会計)
残高は43億7,000万円

円<(全会計)平成7年度と同額>
億円・利子は8億円

【歳出の特徴(一般会計)】

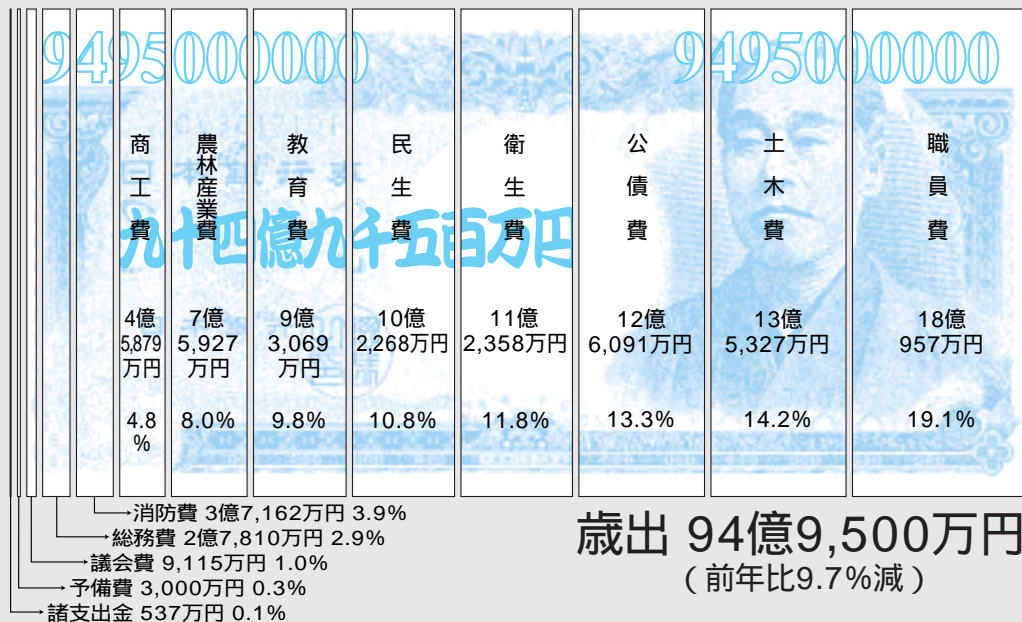
一般会計の前年度対比は9.7%の減。うち消費的経費は2.7%の減、投資的経費は39.6%の減となりました。

消費的経費の減った主な内容は、職員費(1億1,000万円)、企業誘致融資原資預託金(4,800万円)、介護保険特別会計繰出金(1,700万円)などです。

投資的経費の減った主な理由は、南地区コミュニティセンター建設(2億6,000万円)、社会福祉法人準備支援事業(7,700万円)、道営土地改良事業(1億3,000万円)、国営土地改良事業償還金(通常分と繰上償還分合わせて3億8,800万円)などによるもので、39.6%の大きな減となりました。15年度は国営御影地区土地改良事業償還金の繰上償還は計上していません。

行政改革の推進や予算編成方針により管理的経費・投資的経費の10%削減に努めました。この結果、管理的経費で人件費を除き約4,800万円の財源を捻出(ねんしゅつ)することができました。

一般会計の職員費の減った主な内訳は、給与改定と定期昇給分を除き、退職者不補充分(8人減)で7,400万円、管理職手当改正分で300万円、時間外手当分(7% 6.5%)で300万円となりました。全会計の減少額は、退職者不補充分で9,400万円、管理職手当改正分で800万円、時間外手当分で800万円となりました。



歳出